

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
**0225
(22) 7711**
広報専用FAX
**0225
(22) 7809**

経営・石原ゼミ開発 ～石巻・飯野川発サバだしラーメン～

生麺タイプ、オリジナルスープ付き
石巻地域の産学／異業種が連携

家庭用を商品化

経営学部・石原ゼミ（石原慎士教授指導）が石巻市の飯野川まちづくり研究会などと連携して開発した「石巻・飯野川発サバだしラーメン」（本紙514号既報）の家庭用商品版が完成。8月6日、本学で完成発表会・試食会が催され、関係者約100人に振る舞われた。

「サバだしラーメン」は2011年度に活動が始まり、同年11月から飯野川地区の食堂4店舗と道の駅「上品の郷」で販売を開始。学内でも石鳳祭などに出品し、好評を博してきた。

家庭用の開発に際しては、新たに河北地区で小麦「ユキチカラ」を生産している農事組合法人舟形アグリ、製麺業の有限会社島金商店、水産加工業の山徳平塚水産株式会社と連携。石巻地域の産学／異業種が連携した。商品はサバ骨粉末が練り込まれた生麺に、新開発された塩ベースのオリジナルスープ付き（2食入り）。価格は400円程度で、宮城県内の小売店、関東地方の食品専門店などで来月から販売される。石原教授は「被災地・石巻の産学が連携し、それぞれの強みを結集した商品となった。今後、大学がコーディネートし、産学連携体制で、高付加価値型商品の開発を継続して実施していく」と意気込みを語った。

缶詰づくりなど体験

食環境学部
実習Ⅰ



7月4日、理工学部食環境学科の「食環境学実習Ⅰ」で、パインアップルの缶詰とレトルト食品づくりの実習が行われた。

1年次生24人が鈴木英勝准教授の指導で、専用機械を用いて作業を体験した。写真。

2年次から始まる本格的な専門教育を前に、調理と食品加工の体験を通して専門分野への興味や好奇心を持ってもらおうと、今回の実習が行われた。

学生たちは白衣を着用して参加。包丁でカットした生パインアップルをシロップとともに缶詰に詰め、専用の機械で缶を密封。

最後にレトルト殺菌釜で加熱殺菌するまでの工程を体験し、食品加工に

▲ 「おいしい」「うまい」の声が聞かれた試食会

体育会優秀選手の硬式テニス・和田咲良さん



右から坂田学長、和田さん、猪瀬寿人監督、市川辰雄常務理事

石専大生 初の栄誉

本学が体育会最優秀選手として表彰した硬式テニス部の和田咲良さん（経営4・宮城県泉館山高）が、7月13日に開催された「専修大学校友会定時総会」に石巻専修大学の学生として初めて招待された。総会では、ほかの優秀選手、団体らとともに紹介され、出席した校友らから大きな声援と拍手が送られた＝5面に関連記事。

和田さんは1年次から東北学生テニス連盟の

主催大会などで上位に入賞。4年連続で全日本学生テニス選手権大会出場を果たすなど継続的に優秀な成績を残した点が高く評価された。

和田さんは「大変な栄誉をいただき、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。残りの学生生活も頑張ります」と感想を話した。

坂田隆学長もあいさつの中で「彼女も被災した学生の一人。石巻専修大学の学生の頑張りを体現してくれた」とたたえた。

TBC夏まつり2013

本学からは6団体、学生ら100人参加

「震災復興支援イベント TBC夏まつり2013」（主催＝東北放送（株））が、本学陸上競技場の隣に設けられた特設ステージで開催された。本学からは学生ら6団体約100人が参加し、模擬店の出店やコラボ企画の開催のほか、運営スタッフとしても協力した。

同イベントは以前から仙台（勾当台公園市民広場）で開催されていたが、東日本大震災があった2011年から石巻もたちと触れ合った。また、庄子真岐ゼミは本学と石巻市内の6店舗をめぐってスタンプを集める「オリジナルスタンプラリー」を実施した。特別企画「ご当地キャラグランプリin石巻」には専修大学のマスコット「センディ」が出場。経営学部・山崎泰央ゼミは「ご当地キャラグランプリ」を企画し、大健闘した。



夏を味わう

学生手作りの「流しそうめん」
7月27日、人間学部の学生有志が企画した「一流しそうめん」が本館中庭

で催された＝写真。参加した学生、教職員らは夏を彩るイベントを堪能するとともに、にぎやかに親睦を深めた。

このイベントは、図画・工作で学んだ木工の技術を生かそうと、学生たちが企画。山から竹を切り出し、授業の合間を利用し、流しそうめん台や食器などを、半月かけて自分たちで制作した。

阿部夢子さん（人間1・宮城県石巻北高）は、ゼロからモノを作り上げる大変さと、協力することの大切さを改めて知ることができた。先生方にも協力していただき、より学部として結束を強めることができた。みんなで作ったそうめんはいつもより何倍もおいしく感じた。今後もこのような学生主体の企画を発案していきたい」と話した。

100人に修了証書

開放講座

6月6日から2カ月間にわたって開講された平成25年度みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」（全8講座）が終了



今年度は「今、人間として生きるとは？」を統一テーマに、本学の8教員が講演。夢のあるまちづくり、新しい石巻の創造を目指し、人間としての生き方に焦点を当てた講座を展開した。今回の講座は、10代から80代までの幅広い年齢層の149人が聴講した。

閉講式では、杉田博大学開放センター長（経営学部教授）から、六つ以上の講座に出席した受講者100人に修了証書が手渡された＝写真。